



【十日市場学級】

十日市場学級は今年で八年目を迎え、会員は十八名います。生涯学習を始めた動機は、長年会社勤めをしている相川さんの一言でした。「一日中仕事に追われ、たまの休みには、雑用が多く自分の時間が無い、このまま定年で家に入ったとき、地域の人たちとの交流とか、何か趣味でもないと淋しい人生だと思おう。」これに共感した人たちが集まり、「趣味を通じて地域の仲間作りをし、子育て論や生活の知恵など、身近なものから環境問題、社会問題などにも目を向け、生活環境の向上に努める」ことを目的とした自主グループ「ポプラの会」を発足しました。

趣味に関することは仲間内で講師を募りました。「昔とった杵柄」料理、お花、着付け、手芸などなんでも結構です。あなたの得意なものを私たちに教えてください。あの人あんな特技、耳寄りな情報もお願いします、といった具合です。皆さんの多芸には感心させられるばかりでした。お陰様で年々手作りの品も増えました。

地域の仲間作りに関しては、各種講演会や見学会の参加、リサイクルバザーの一部収益金を毎年市内の福祉施設に寄付するなど、様々な機会を通じて多くの人たちと交流を深めることができました。

個人ではできなくても仲間同士ならできるということがたくさんあることを知りました。これからは地域のお年寄りも講師として招き、昔ながらの生活の知恵をお借りし、その中でボランティアや福祉の在り方も考えていきたいと思います。



作品を手にする十日市場学級の皆さん

問合せ先 堀口けい子 ☎ (43) 4549

【深田学級】

深田学級は会員十八名、毎月第一月曜日午後七時半、夏期は八時から約二時間、自治会館に集まって学習をしています。

今年度の学習内容は、次の三つがテーマです。その一つは折り紙です。四回にわたって、くす玉、傘、花などを作ります。折り紙は日本の伝統文化でもあり、年を取ってもできる生涯学習の素材です。

二つ目は、体操で、二回にわたって行います。ストレッチ体操や、台所で不用になったサラップの芯を活用し、リズムに合わせて身体を動かし健康づくりに役立てます。

三つ目は編み物です。二回にわたって行います。残り毛糸を利用して、靴下カバーのいろいろな編み方を学習します。学級の時間でできないものは宿題となります。

また、今年度は、七月に地域の育成会や老人クラブとともに美化活動に参加して、地域のゴミ拾いや会館周囲の草取りなど、自治会の一組織としてともに汗を流しました。

その外に、ゲームやハンドプレーなどにも挑戦し、童心に返り、親睦を深めていきたいと思います。

なお、自治会館内に以前学級で製作した繭の花やリースなども飾って雰囲気づくりもしています。これからもみんなで親睦を図りながら、ともに学び生涯学習として発展させていきたいと思います。



ペーパークラフトづくりに熱が入る深田学級の皆さん

問合せ先 小笠原直江 ☎ (43) 1385

【つみかごの会】

五月、秋田県鷹巣町長、「岩川徹氏と語る会」に参加。「住民と行政がとまにつくった福祉」を学びました。都留市のゴミ現状を市の担当者を交えて話し合う会。家庭での焼却処理はダイオキシン発生につながるなど、ゴミ問題の重大さを確かめました。

七月、老健施設つるの七夕に参加。ささ飾りの下とともに歌い、おやつの手伝いも出来ました。「やすらぎの家」の見学。甲府市の真ん中、丸の内におり、敷地の半分が建物、半分が植木でいっぱいのお庭という普通のお宅でした。元教師の寮母さんが十年考えて実現したという。一言で言えば「託老所」です。よき協力者が数人いて寮母さんを支えていました。厚生省からの補助金もその人件費にほとんど費やされるということです。自宅を開放し自分の時間を奉仕に投入する勇氣に頭が下がりました。五、六人の元気なお年寄りが朝九時に来て昼食をはさんで歌ったり雑談を楽しみ、そしてお昼寝も・・・、公の施設のデイサービスとはひと味違った温かさを感じました。

帰りの車中で、また、その後の集まりで「都留にやすらぎの家ができないだろうか。各ブロック毎にあってもいい」「個人の家の開放でもいいし、公共の遊休建物、例えば空き教室、また集会所などを有効に利用したい」など、話は発展しました。

いつでも、どなたでも、入会大歓迎



老健「つる」を訪問し入所者と談笑するつみかごの会の皆さん

問合せ先 小池喜三子 ☎ (43) 2950